

事務事業評価資料										
施策名	安全・安心な社会づくり（医療体制の整備）			所管部局課名	健康福祉部健康局医務課					
事業名	地域医療支援医師研修事業			担当者電話番号	医療政策係 078-362-3243 企画調整係 078-362-4351					
事業目的	地域医療を支援する医師の育成									
事業内容	委託先：県医師会 委託事業：医師技術研修、女性医師再就業研修、小児救急医療研修 及び総合診療医育成研修 負担割合： 小児救急医療研修及び女性医師再就業研修 1/2(国1/2、県1/2) 総合診療医育成研修 10/10 医師技術研修 1/2(県1/2、事業者1/2)						事業開始年度	22年度		
	区分	平成20年度決算額			平成21年度当初予算額			平成22年度当初予算額		
事業に要するコスト	事業費	(0千円) 0千円			(0千円) 0千円			(5,000千円) 9,000千円		
	人件費	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	2,462千円	従事人員 0.3人			
	総コスト (+)	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	11,462千円	従事人員 0.3人			
	事業の目標	各研修の参加人数の増				[目標設定理由] 小児救急医療研修 研修者を増やすことで、休日夜間急患センター等で適切な小児救急医療を提供することができるため 総合診療医育成研修事業 研修に参加することで、総合診療に関する意識啓発を図る必要があるため 医師技術研修 研修に参加することで、へき地医療機関への円滑な就職を促進する必要があるため 女性医師再就業研修 研修に参加することで、女性医師の円滑な再就職を促進する必要があるため				
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)			
		目標値	年度				H20	H21	H22	
	小児救急医療研修参加人数	30名	毎年度			30名 (33千円)			100.0%	
	総合診療医育成研修参加人数	30名	毎年度			30名 (33千円)			100.0%	
	医師技術研修参加人数	10名	毎年度			10名 (350千円)			100.0%	
	女性医師再就業研修参加人数	5名	毎年度			5名 (700千円)			100.0%	
評価結果	必要性	・小児科専門医が減少していることから、初期救急に従事する小児科専門医以外の医師等に対し小児救急医療の知識・技術を習得し、適切な医療が行われるよう支援していく必要がある（小児救急医療研修）。 ・総合診療を行う開業医との地域医療連携を図る必要がある。（総合診療医育成研修事業） ・北播磨、中播磨北部、西播磨、但馬、丹波の各地域においては、医師確保が困難な状況にあり、これらの地域で医師確保を図ることが喫緊の課題となっている。兵庫県医師会が行うドクターバンク事業の支援は、医師確保を図る上で即効性がある（医師技術研修）。 ・女性医師の割合が増加する中、結婚・出産等により離・退職した女性医師の再就業を支援する必要がある（女性医師再就業研修）。								
	有効性	・医師確保が困難となる中、研修事業による安心感を担保し、医療機関とのマッチングや再就業に結びつける観点から有効である。 ・小児科専門医以外の医師が、小児救急医療の知識・技術を習得するため、研修を実施することは現場のニーズに基づいたものであり、小児に対し適切な医療を行う観点から有効である（小児救急医療研修）。								
	効率性	・県が独自に小児科医師研修を実施するよりも、医師とのネットワークがある兵庫県医師会が行う事業に県が支援するほうが、研修参加人数が増加し、経費が削減できるため効率的である。 ・県が独自にドクターバンクや女性医師再就業支援センターの窓口を設置するよりも、医師とのネットワークがある兵庫県医師会が行う事業に県が支援する方が、マッチング等を行いやすく、また経費が削減できるため効率的である。								
	民間・市町との役割分担	・医師技術研修は、再就業先の病院が1/4支払う仕組みとしている。								
	受益と負担の適正化	・医師技術研修は、再就業先の病院が1/4支払う仕組みとしている。								
実施方針	方向性	新規		拡充		継続		実施手法の見直し		
		廃止		縮小		統合		凍結(休止)		
		延長		終期設定						
実施手法の見直し内容	市町移譲		民間移譲		民間委託		PFI		負担割合変更 事務改善 その他	
説明	新医師臨床研修制度への移行を契機として、従前から厳しい状況にあった特定の地域や小児・産科等の特定の診療科における医師不足が更に深刻な状況になっている。 そのため、兵庫県医師会に委託していた研修を一本化して、それぞれの医師のスキルに合った研修を用意し、きめ細やかに対応をすることで、不足地域及び診療科への再就業等を支援し、医療提供体制の充実を図り、県民が安全に安心して生活できる医療環境を整備する。									